



# 図書館 だより

図書館 ☎69・3706

## 「おしえて!図書館」

Q スーパーで見かける「もちきび」(雑穀)の料理方法を知りたい。

A 「もちきび」ですね!お米コーナーで時々見かけます。雑穀をキーワードに本を検索すると、たくさん本がヒットしました。

実際に本を開いて、お好みのメニューがあるか見てみます。炊いて炒め物、サラダに加える以外に、雑穀が主役のおかず、お菓子も。雑穀は、ほかにヒエ、アワ、タカキビ、はと麦などの種類があり、美容効果もあるようなので、いろいろな料理で楽しんでくださいね!



雑穀だいすき! 小粒でパワフル、おいしいレシピ81品  
日本雑穀協会、松田美智子/著  
柴田書店

カラー写真で各種雑穀を紹介。巻末の雑穀別インデックスで、気になる種類のおいしいレシピを探せます。雑穀の定義や歴史、栄養についても紹介され、小さな「つぶつぶ」をたっぷり楽しむ1冊。

Q 畑を荒らすイノシシについて子どもと一緒に調べたい。

A 児童室の『シリーズ鳥獣害を考える』という本をご紹介します。写真、イラストが多く使われ、わかりやすいシリーズです。子ども向けですが、大人の方にもご覧いただきたい内容です。



イノシシはなぜ田畑に害をあたえるの?

シリーズ鳥獣害を考える2

江口祐輔/監修  
こどもくらぶ/編  
農山漁村文化協会

イノシシとはどんな動物なのか、なぜ害獣とされるのか、被害を防ぐ方法などを紹介。このシリーズには、カラス、サル、モグラ、ライグマなどの巻もあります。

貸出中の場合もあるので、見当たらない時は気軽に職員へお尋ねください。

「まったくうむ」  
■移転50周年  
今年は何と竹島水族館が現在の場所に建って50年になる記念の年です。まあそうは言っても「だからなんなんだ。こっちは忙しいんだからよ」と言われてしまえば、そうですかと言うしかないのですが、現在の場所です50年(その前は現在の俊成苑のあたりで昭和31年7月よりオープン)という歴史は日本の水族館でもかなり古いものです。あまり資料が残っていない

50周年事業  
親子で楽しみながら魚にエサをあげることができる「パクパクおさかなプール」や、昨年のリニューアルで作られて今でも大人気の生き物に触れる水槽「さわりんぶーる」など、最近の竹島水族館はめまぐるしく展示を変えたり水槽を新設したりしています。

癒しの空間  
現在の標本室は今までの標本だらけの不気味な暗黒空間から一新して「圧倒的な癒し水槽」をメインにした展示に文字通りガラリと変わる予定です。密集した水草やきらめくサンゴがゆらめき、その中を魚たちが楽しそうに泳ぐ水槽をたくさん設置します。お金はありませんが、頑張りつて変えます。さわりんぶーるは予想を上回るレベルで子どもたちを釘づけにしています。その間、時間を持

て余して家に帰りたくなったお父さんお母さんたちは困っているの、今度は改装した標本室でゆっくり休んで癒されることができるようになります。この部屋はきれいな水槽がいくつも設置された空間でまったく癒される部屋なので「まったくうむ」と命名されました。水族館は英語でアクアリウムなので、まったくできる水族空間という意味です。  
悠々と泳ぐ魚や水流に揺れる水草、きらめくサンゴの水槽を見て、ぜひまったくしててください。オープンは11月10日予定で、この日は入館者を対象にお菓子投げ大会などもやります。



学芸員 小林龍二

竹島水族館  
☎68・2059

